

常任委員会視察研修報告

令和5年度常任委員会視察研修について報告いたします。

今年度は、産業建設委員会が主催となり、4月20日、21日の2日間で実施しました。

視察場所は、国の天然記念物であり、絶滅危惧種にも指定されているミヤコタナゴを飼育している施設、『井の頭自然文化園』及び、塗装技術により、建物などの強度や改修等に取り組む『株式会社染めQテクノロジー』を視察しました。

1. 公益財団法人 東京動物園協会 井の頭自然文化園

東京都武蔵野市にある井の頭自然文化園は、昭和17年に開園した歴史のある施設であり、都会の中に自然が豊かで、人々の憩いの場、ゆったりとくつろげる散策の場として、地域に根ざした動物園です。その中に、ミヤコタナゴなどの魚類や両生類、水生昆虫、水生植物などの淡水の生きものが生息する環境を凝縮し、わかりやすく展示している『水生物館』があります。

そこで飼育されているミヤコタナゴは、御宿産であり、千葉県立中央博物館からやってきたミヤコタナゴということで、対面した際には、感慨深いものがありました。

御宿町においては、現在実谷地先に生息地があるものの、非常に少ない個体となっていることから、自然での生息環境の維持が非常に難しい状況であります。町では今年度から、公民館でビオトープ水槽を設置して、二枚貝の飼育を行いながら、御宿産ミヤコタナゴの種の保存を行うと伺いました。

天然記念物であるミヤコタナゴは、絶滅したら二度と戻らないことを改めて認識するとともに、井の頭自然文化園をはじめ、名古屋の東山動物園にも御宿産のミヤコタナゴが生息していることがわかり、心強く思った次第です。

町の予算では、限られた施策しかできないことを踏まえ、国・県と協力してミヤコタナゴ保護事業を実施していかなければならないと、今回の視察で改めて感じました。

2. 株式会社染めQテクノロジー

茨城県五霞町にある株式会社染めQテクノロジーは、平成14年に設立された会社で、主に塗料からスタートし、「大改修時代 染めQが担う」ことを目標に掲げ、モノへの改修にも力を入れている会社です。塗装技術を応用し、あらゆるモノの劣化を止め、老朽化したモノを壊すことなく再生し、強度の復元まで実現した先端塗装技術などを視察しました。

この技術は、限界はあるものの、わが町にある老朽化した公共施設、建物や橋などを長寿命化できる可能性を秘めています。

今後、町の財政がさらに厳しくなる中、建替え工事や改築を安易に選択することなく、このような新しい技術を研究し、取り入れていくことが重要だと感じました。

最後になりますが、今回の視察に快く対応してくださいました井の頭自然文化園及び染めQテクノロジーの関係者の皆様、並びに同行頂いた議会事務局長に深く感謝を申し上げます、視察報告とさせていただきます。

令和5年6月14日

産業建設副委員長 藤井 利一